

# 中小企業景況調査報告書

令和6年 1 ~ 3月期 実績  
 令和6年 4 ~ 6月期 見通し






鹿児島県商工会連合会

(令和6年4月発行)

この調査は、商工会地域の産業状況等地域の経済動向について、四半期毎に変化の実態等諸状況を迅速・的確に収集して、全国商工会連合会と連携し、全国一斉に実施しているものです。

























この報告書の中で、用いられているD・I指数とは、ディフュージョン・インデックスの略で、【増加・上昇・好転】の割合から【減少・低下・悪化】の割合を差し引いた値で企業経営者の景気動向を表す指数として利用されています。

## 〈お天気マークの説明〉

 特に好調 +30.0 以上	 好調 +29.9~ +10.0	 まあまあ +9.9~ ▲9.9	 不振 ▲10.0~ ▲29.9	 極めて不振 ▲30.0 以上
---	---	---	---	--

- 調査対象期間 令和6年1~3月期を対象とし、調査時点は令和6年3月1日とした。  
令和6年4~6月期は予測値となる。
- 調査方法 商工会の経営指導員による訪問及び面接調査による。
- 調査対象商工会 かごしま市・南九州市・さつま町・鶴の町・始良市・湧水町・霧島市  
志布志市・大崎町・垂水市・錦江町・西之表市・あまみ・徳之島町
- 回答企業 対象企業 209企業  
製造業：45企業 建設業：30企業 小売業：57企業 サービス業：77企業

## 県内産業別業況DI

	製造業	建設業	小売業	サービス業
5年 1月 ~ 3月期	 ▲7.0	 ▲16.7	 ▲25.9	 ▲24.7
5年 4月 ~ 6月期	 ▲2.3	 6.7	 ▲5.2	 3.9
5年 7月 ~ 9月期	 ▲9.3	 6.7	 ▲25.9	 ▲6.7
5年 10月 ~ 12月期	 ▲4.6	 23.3	 ▲19.3	 ▲4.1
6年 1月 ~ 3月期	 ▲2.2	 6.7	 ▲23.2	 ▲7.8
来期見通し(4~6月期)	 4.5	 0.0	 ▲25.0	 ▲11.7

## 総合(業況)

前年同期(令和5年1月~3月期)と比較した今期(令和6年1月~3月期)の業況は、製造業▲2.2(前年同期比4.8ポイント改善)、建設業6.7(前年同期比23.4ポイント改善)、小売業▲23.2(前年同期比2.7ポイント改善)、サービス業▲7.8(前年同期比16.9ポイント改善)となった。

今期については、前年同期と比較すると、コロナ禍前に回復をしているものの、依然として原材料の高騰や従業員の確保難、賃上げ等により特に小売業に関しては、まだコロナ禍だった前年同期とあまり変わりなく安定推移とは言い難い。建設業の完成工事額では、前年同期と比較して51.4ポイント改善し、大幅に工事額が上がっていることが伺えるが、来期は悪化となる見通し。

また前期(令和5年10月~12月期)と比較すると、製造業2.4ポイント、改善になったものの建設業16.6ポイント、小売業3.9ポイント、サービス業3.7ポイント悪化となった。

なお、来期(令和6年4月~6月期)の見通し(DI)は、今期と比較すると、製造業6.7ポイント改善、建設業6.7ポイント悪化、小売業1.8ポイント悪化、サービス業は3.9ポイント悪化の見通しとなり、働き方改革関連法に基づく時間外労働の上限規制が4業種(建設業、自動車運送業、製糖業)に導入されることにより、他業種についても影響が懸念され、先行き不透明である。

# 業種別景気動向

## 【製造業】 有効回答数 45 企業

調査対象企業内訳：食料品(21)、飲料・飼料・たばこ(7)、一般機械器具(2)、家具・装備品(2)、木材・木製品(3)、プラスチック製品(1)、印刷・同関連(4)、金属製品(3) 窯業・土石製品(1)、その他(1)

	売上額		採算		資金繰り		業況	
5年 1月～3月期		▲6.8		▲25.0		▲9.3		▲7.0
5年 4月～6月期		18.2		▲15.9		▲2.3		▲2.3
5年 7月～9月期		13.9		▲7.0		0.0		▲9.3
5年 10月～12月期		6.8		▲22.7		▲4.6		▲4.6
<b>6年 1月～3月期</b>		<b>▲8.9</b>		<b>▲15.6</b>		<b>2.3</b>		<b>▲2.2</b>
来期見通し(4～6月期)		▲2.2		▲11.1		2.3		4.5

### <調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・物流コストの上昇に加え、包装資材やエネルギー等の価格が高騰していることで利益が圧迫されている。  
(清涼飲料製造業)
- ・働き方改革・生産性向上・賃金上昇等と販売数量と利益確保を踏まえた難しい問題をどう促えて、知恵を出して乗り越えていくかが課題。  
(めん類製造業)
- ・原油高による運送コスト上昇が消費者に浸透しておらず、値上げ幅に納得頂けない場合が多い。  
(食品製造業)

### 経営上の問題点

第1位 原材料価格の上昇	51.2%	(前期比 +16.1)
第2位 従業員の確保難	12.2%	(前期比 +6.8)
第3位 需要の停滞	7.3%	(前期比 -6.2)

## 【建設業】 有効回答数 30 企業

調査対象企業内訳：総合工事業(21)、職別工事業(5)、設備工事業(4)

	完成工事額		採算		資金繰り		業況	
5年 1月～3月期		▲13.4		▲36.6		▲13.3		▲16.7
5年 4月～6月期		10.0		▲13.4		6.6		6.7
5年 7月～9月期		24.1		▲6.6		3.4		6.7
5年 10月～12月期		30.0		0.0		3.3		23.3
<b>6年 1月～3月期</b>		<b>38.0</b>		<b>0.0</b>		<b>3.3</b>		<b>6.7</b>
来期見通し(4～6月期)		▲3.4		▲3.4		▲6.6		0.0

### <調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・原材料(特に資材関係)が高騰しているため少しだけ価格転嫁を図ったことで売上増加に転じたが、利幅は減少した。今後は付加価値を高める取り組みを検討して単価を上げていきたい。  
(土木工事業)
- ・給与を上げつつも、業績も上げ続けなければいけない。休日を増やしつつも売上を維持していく事の厳しさを実感し社会保険等の増加も悩みの種。  
(建築リフォーム工事業)
- ・前年同期と比較して、公共工事の発注量の減少に伴い、受注量も減少しているため、来期の見通しが立たない状況にある。  
(土木工事業)

### 経営上の問題点

第1位 材料価格の上昇	44.0%	(前期比 -12.0)
第2位 従業員の確保難	16.0%	(前期比 +4.0)

## 【小売業】 有効回答数 57 企業

調査対象企業内訳：飲食料品(23)、各種商品(2)、織物・衣服・身の回り品(6)、家具・建具(5)  
自動車・自転車小売業(1)、その他(20)

	売上額		採算		資金繰り		業況	
5年1月～3月期		▲11.9		▲33.9		▲18.6		▲25.9
5年4月～6月期		▲5.2		▲20.7		▲15.6		▲5.2
5年7月～9月期		▲12.0		▲39.7		▲20.7		▲25.9
5年10月～12月期		▲8.8		▲31.6		▲24.6		▲19.3
<b>6年1月～3月期</b>		<b>▲17.5</b>		<b>▲28.0</b>		<b>▲16.0</b>		<b>▲23.2</b>
来期見通し(4～6月期)		▲15.8		▲24.5		▲17.8		▲25.0

### <調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・物価上昇、人件費の高騰により、商品が動かない。物事を必要最小限で済ませようとする動きが多い。  
(ホームセンター)
- ・食肉以外にも仕入が上がっていて販売単価の見直しを検討せざるを得なくなっている。(食肉小売業)
- ・昨年からの物価高による仕入価格の上昇が今年も行われると思われる。さらに配送コストによる問屋からのロット数の上昇も打診されており在庫の過剰の恐れがある。  
(牛乳小売業)

### 経営上の問題点

- 第1位 仕入単価の上昇 30.6% (前期比 -6.1)
- 第2位 購買力の他地域への流出 16.3% (前期比 +6.1)
- 第3位 需要の停滞 14.3% (前期比 +4.1)
- 第3位 大型店・中型店の進出による競争の激化 14.3% (前期比 +2.1)

## 【サービス業】 有効回答数 77 企業

調査対象企業内訳：洗濯・理美容業(19)、飲食店(25)、自動車整備業(10)、宿泊業(9)  
運送業(2)、その他(12)

	売上額		採算		資金繰り		業況	
5年1月～3月期		▲16.9		▲37.7		▲20.8		▲24.7
5年4月～6月期		18.5		▲22.3		▲1.4		3.9
5年7月～9月期		10.6		▲12.0		▲13.4		▲6.7
5年10月～12月期		6.7		▲6.7		▲9.3		▲4.1
<b>6年1月～3月期</b>		<b>6.5</b>		<b>▲20.8</b>		<b>▲13.1</b>		<b>▲7.8</b>
来期見通し(4～6月期)		9.1		▲18.2		▲10.6		▲11.7

### <調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・情報を簡単に得られる世の中となりお客様の求めるものが大きくなり、そのニーズに合わせた対応に大変な状況となる。  
(写真業)
- ・昨年11月から減便したLCCの影響で来島者が激減し、それに伴い利用客が減り売上也減った。以前から仕入れ原価高騰により宿泊料金の値上げを考えている。  
(簡易宿泊所)
- ・人の動きがクリーニング業までやっと来たと思われる。しかし生活の環境が大きくコロナ前には戻ることはない。  
(普通洗濯業)

### 経営上の問題点

- 第1位 材料等仕入単価の上昇 43.7% (前期比 +1.9)
- 第2位 利用者ニーズの変化 14.1% (前期比 +8.1)
- 第3位 従業員の確保難 7.0% (前期比 -3.4)

# 全産業【鹿児島県】

2024年1月期～3月期

	今期（前年同期比）					来期（対前年同期比来期見通し）				
	企業数	↗	→	↘	D I	企業数	↗	→	↘	D I
売上・完成工事・加工・収入額	208	27.4	46.2	26.4	1.0	208	17.8	62.5	19.7	-1.9
売上（加工）単価・客単価	179	20.7	66.5	12.8	7.8	179	14.5	72.6	12.8	1.7
売上（加工）数量	45	15.6	46.7	37.8	-22.2	45	15.6	68.9	15.6	0.0
客数	57	15.8	40.4	43.9	-28.1	57	8.8	57.9	33.3	-24.6
利用客数	77	27.3	49.4	23.4	3.9	77	20.8	57.1	22.1	-1.3
資金繰り	206	6.8	78.2	15.0	-8.3	206	8.3	74.3	17.5	-9.2
輸出額	18	5.6	83.3	11.1	-5.6	18	0.0	88.9	11.1	-11.1
受注（新規契約工事）額	30	33.3	53.3	13.3	20.0	30	20.0	66.7	13.3	6.7
原材料・商品等仕入れ単価	209	76.6	22.0	1.4	75.1	209	58.4	40.2	1.4	56.9
原材料在庫数量	45	4.4	84.4	11.1	-6.7	45	2.2	88.9	8.9	-6.7
商品仕入数量	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
商品仕入額	57	42.1	43.9	14.0	28.1	57	35.1	50.9	14.0	21.1
商品・商品在庫数量	101	4.0	82.2	13.9	-9.9	101	3.0	85.1	11.9	-8.9
採算（経常利益）	209	9.1	63.2	27.8	-18.7	209	7.2	69.4	23.4	-16.3
従業員（含臨時・パート）	174	8.0	82.2	9.8	-1.7	174	5.2	69.0	4.6	0.6
外部人材（請負・派遣）	92	5.4	92.4	2.2	3.3	92	4.3	89.1	6.5	-2.2
設備操業率	44	9.1	81.8	9.1	0.0	44	9.1	81.8	9.1	0.0
引合	70	18.6	64.3	17.1	1.4					0.0
受注・契約残	73	9.6	76.7	13.7	-4.1					0.0
業況（自社）	208	14.4	62.5	23.1	-8.7	208	8.2	73.6	18.3	-10.1

	今期（前期比）					来期（対当期比見通し）				
	企業数	↗	→	↘	D I	企業数	↗	→	↘	D I
売上・完成工事・加工・収入額	208	15.4	53.4	31.3	-15.9					
売上（加工）単価・客単価	179	10.1	75.4	14.5	-4.5					
売上（加工）数量	45	17.8	53.3	28.9	-11.1					
客数	57	8.8	50.9	40.4	-31.6					
利用客数	77	14.3	54.5	31.2	-16.9					
資金繰り	206	4.4	76.2	19.4	-15.0					
業況（自社）	208	8.2	72.1	19.7	-11.5	208	9.1	76.9	13.9	-4.8
受取手形期間	46	2.2	97.8	0.0	2.2	46	0.0	97.8	2.2	-2.2
長期資金借入難度	166	4.2	87.3	8.4	-4.2	166	4.2	86.7	9.0	-4.8
短期資金借入難度（含手形割引）	145	5.5	89.0	5.5	0.0	145	5.5	86.9	7.6	-2.1
借入金利	167	3.6	95.2	1.2	2.4	167	3.6	92.8	3.6	0.0

	今期の水準				
	企業数	↗	→	↘	D I
業況（自社）	209	10.5	65.6	23.9	-13.4
生産に対する原材料在庫	45	0.0	97.8	2.2	-2.2
売上に対する製品在庫	102	6.9	86.3	6.9	0.0
採算（経常利益）	209	20.1	64.6	15.3	4.8
引き合	71	14.1	66.2	19.7	-5.6
生産設備	45	2.2	86.7	11.1	-8.9
従業員（含臨時・パート）	178	2.2	78.7	19.1	-16.9

上2表

- ↗：増加・上昇・好転・長期化・容易
- ：不変
- ↘：不足・低下・悪化・短期化・困難

左表

- ↗：良い・過剰・黒字・活発
- ：ふつう・適正・収支トントン・ふつう
- ↘：悪い・不足・赤字・低調